



「これまでのやり方には絶対に戻れない」 紙文化が根強く残る中で、請求書発行のペーパーレス化への挑戦

水産、青果、花卉を中心に物流業務を一手に担う専門会社であり、生鮮食品の輸送や伊豆七島の貨客船による発送業務など、さまざまな事業を展開する永井株式会社。全国にネットワークを持ち、配送エリアも広範囲に及びます。物流・水産業界では紙文化が根強く残るなか、永井株式会社ではペーパーレス化を進めたいというご要望があり、当行からバクラク請求書発行サービスをご紹介させていただきました。

今回は、同社がこれまで抱えていたバックオフィスの課題や、バクラク for MUFG導入の決め手、今後について、担当者の皆さまにお話を伺いました。

永井株式会社

業種 : サービス業

社員数 : 79名

【お話を伺った方】

永井株式会社 代表取締役 永井 洋司さま

株式会社三菱UFJ銀行 銀座支店 曾木 有紗

課題

- ・ 紙の請求書発行業務にあたって、手間の多さやミスが課題になっていた
- ・ 紙の郵送に時間がかかるため、先にFAX送付するなど二度手間が生じていた
- ・ 郵便料金値上げによって、郵送コストが増加した

決め手

- ・ 基幹システムから出力したPDFの分割や送付先の読み取り精度が非常に高かった
- ・ 操作もしやすく、現場で実務を行う従業員の反応が良かった
- ・ 請求書発行を電子化することで二度手間やミスを減らすことができる



左から永井株式会社 永井さま、株式会社三菱UFJ銀行 曾木

人手不足と郵便料金値上げを機にペーパーレス化を検討

一 バクラク for MUFG導入前にはどのような課題を抱えていましたか。

永井さま: 導入前の大きな課題は、請求書の発行がすべて紙と郵送で行われていたことです。

これまでは基幹システムやExcelから紙の請求書を印刷し、それらをすべて封入して糊付けし、束になった封筒を紙袋いっぱいに入れて郵便局に持参・郵送する作業が発生していました。これは作業量も多く、従業員も大変そうでした。取引先によってはFAXで先に請求書を送ってほしいと要望を受け、あとで請求書を郵送する二度手間になることも珍しくありません。仕分けや指定の商品を事前に集める作業

など、細かな作業内容を反映した書類を大量に扱うので、どうしてもミスリスクもつきまといます。

一 今回、永井株式会社さまにバクラク for MUFGをご紹介いただいた経緯を教えてください。

曾木: 水産業界全体では紙文化が根強く残っており、DXがなかなか進んでいないというお話や、人手不足でお困りであることは伺っていました。そのような状況のなか、システムを導入することで工数を減らし、人手不足を補えるのではないかと考え、バクラク for MUFGをご提案しました。

永井さま: 2024年10月からの郵便料金値上げを機に、ペーパーレス化できる良いサービスを探していたところ、営業担当の曾木さんからバクラク請求書発行サービスをご提案いただき、詳しく話を聞いてみることにしました。

三菱UFJ銀行さんは弊社のメインバンクで、ずっと昔から取引させてもらっています。そちらからのご提案でしたのでとても説得力がありましたね。

LayerX社の営業担当の方から全体像を説明していただいたときには、さまざまなサービスがある中でいいと取りされているという話も印象に残りました。



代表取締役 永井 洋司さま

PDF 分割や送付先読み取りの精度の高さに驚き

ー バクラク請求書発行サービスについて、「このサービスだったら使えそう」と思っていたいただいた決め手をお聞かせください。

永井さま:特に驚いたのが、PDFの分割と送付先の読み取りに関する機能です。基幹システムから出力したPDFを一括で取り込むと、AIが取引先ごとに分割し、送付データがすぐに出せます。

これが当たり前になると、今までやっていた業務には絶対戻れないほど楽になるだろうという実感がありました。現場で実務を担当している社員にも試してもらおうと、「これなら問題なく使えそう」という声が出て、導入に向けた一押しになった形です。

また、メールアドレス回収の文書の中に二次元コードがあって、そこからお客さまが入力したメールアドレスがバクラク管理画面に登録される機能も便利だと感じました。電

子化にあたってメールアドレスを回収するという最初の手間が減らせます。

ー LayerX社の営業担当のサポートはいかがでしたか。

永井さま:バクラクサービスの導入サポートもありが良かったです。弊社はITシステムに慣れていない人も多いのですが、トライアル利用などの進め方も分かりやすく、丁寧に操作説明のフォローをしていただきました。

曾木:LayerX社の営業担当の方からは、一度にまとめて電子化するのではなく、電子受取に対応していただけない取引先から徐々に導入していく方が、永井さまのためになるというご提案をいただきました。売上という観点ではなく、お客さまのためになるか、という観点で相談にお応えいただけたことも信頼できる点でした。

電子化でヒューマンエラーを減少、経理事務の正確性向上へ

ー 今後バクラク請求書発行サービスの運用をされていく中で、どのようなことを期待されていますか。

永井さま:郵便料金の費用や、郵送の手間を抑えられるという点です。まずは、弊社のメイン事業である水産を除いた他の部門から進めていくのですが、ある程度軌道に乗ったら水産にも導入予定です。全部門で、早めに進めたいと考えています。

受発注の部分も現状は紙で行っていて、届くFAXの量も膨大ですが、いずれはそうした業務についてもDX化していきたいと考えています。

こうしたシステムを業務に取り入れていくことで、「この会社は先進的な取り組みをしている」といった印象を持っていただけることもあると思うんですね。

ー どのような企業さまに、バクラク請求書発行サービスをおすすめできますか。

永井さま:郵送費用や工数を削減したい企業さま、ペーパーレス化を進めたい企業さまにおすすめのシステムです。PDF分割や送付先読み取りの精度が非常に高く、驚くと思

います。これまでは手作業によるミスが発生することもありましたが、バクラク請求書発行サービス導入により、今後そのようなミスが起きる心配はなくなりますので、安堵している社員もいます。

曾木:バクラクサービスを導入いただくことで、ヒューマンエラーを減らすことができ、結果として会社の信頼にも繋がります。また、人手不足を補うという観点において、ペーパーレス化を検討されている企業さまにもバクラク for MUFGをおすすめできると考えています。



三菱UFJ銀行 曾木

記事作成日時:2025年6月23日 ※本件記事は作成日時点の内容であり、その後変更となる場合があります。※「Bakuraku for MUFG」「バクラク for MUFG」は株式会社LayerXが提供する三菱UFJ銀行のお客さま向けサービスです。サービス利用の申込に関する手続は株式会社LayerXが行います。サービスご利用には費用が発生いたします。※「バクラク」は株式会社LayerXの商標または登録商標です。※三菱UFJ銀行において「バクラク for MUFG」のお取引をされるか否かが、お客さまと三菱UFJ銀行の預金、融資等其他のお取引に影響を与えることはありません。バクラク for MUFGの詳細は以下URLをご確認ください

https://www.bk.mufig.jp/houjin/jp/bakuraku/index.html?link_id=20241004_bakuraku_mufigbiz_banner_21

当行が契約している指定紛争解決機関:一般社団法人 全国銀行協会【連絡先】全国銀行協会相談室 ■電話番号:0570-017109 または 03-5252-3772

■受付時間:月~金曜日9:00~17:00(祝日、12/31~1/3等を除く)